

### ■演題 13 ESD 適応外早期胃癌に対して NEWS+ センチネルリンパ節流域郭清を施行した一例

1) 慶應義塾大学医学部腫瘍センター低侵襲療法研究開発部門

2) 慶應義塾大学医学部一般・消化器外科

後藤修 1) 竹内裕也 2) 川久保博文 2) 佐々木基 1) 松田達雄 2) 松田諭 2) 気賀澤悠 2)

門多由恵 2) 藤本愛 1) 落合康利 1) 堀井城一郎 1) 浦岡俊夫 1) 北川雄光 2)

矢作直久 1)

非穿孔式内視鏡的胃壁内反切除術 (NEWS) は、胃壁を意図的に穿孔させることなく全層を任意の範囲で切除する手技であり、早期胃癌に対する理想的な胃温存・縮小手術を実現すべく考案されたものである。今回、ESD 適応外と診断された早期胃癌に対して NEWS+ センチネルリンパ節流域郭清 (Sentinel node basin dissection: SNBD) を施行したので紹介する。

<症例> 55歳女性。胃体下部小弯に潰瘍を有する20mm大の未分化型早期胃癌を指摘され、近医でLAPPGを勧められたが、さらなる縮小手術を希望され当院紹介受診。NEWS+SNBDの選択肢を提示したところ快諾された。内視鏡にて正確に病変境界を確認しつつ切除範囲を設定後、ICGを病変周囲4点に局注し、同定されたSN(#3a)を含むSN basin(左胃動脈流域)を郭清、術中迅速病理診断でSN転移陰性を確認後、原発巣をNEWSにて全層切除した。術後経過良好にて術後10日目に退院、最終病理診断はPoorly differentiated adenocarcinoma (por>sig), 20x18mm, 0-IIc+III, pT1a(M), ly0, v0, #3a(0/7), #7(0/4)であり、原発巣は一括完全切除、リンパ節は転移陰性であった。術後1ヶ月現在、明らかな摂食障害を認めていない。

<結語> 臨床例でNEWS+SNBDの実行可能性を示した。NEWS+SNBDはESD適応外早期胃癌に対する究極の低侵襲手術となる可能性がある。